

### 第39回全日本少年サッカー大会栃木県大会地区代表の選出について

前期のリーグ戦が間もなく終わり、8月から後期のリーグ戦が始まります。

本年度の「第39回全日本少年サッカー大会栃木県大会」は、JFA通達で『地域リーグ戦の結果をふまえた県大会を行う』ということになっています。

各地区の地域リーグ戦は、参加チーム数（1ブロックは9～12チーム）の違いで、2ブロック（4地区）、3ブロック（1地区）、4ブロック（2地区）となっています。

各地区の代表の選出には、ある程度の目安はありましたが、地区ごとでバラバラにならないように、またわかりやすいように、県理事会で以下の通りに決定しました。

本年度はこのやり方で各地区の代表を決めますのでよろしくをお願いします。

#### ■ 県理事会決定事項 ■

☆「年間勝ち点率(※)」で地区内順位を決定し、上位チームから順に出場枠を与える。

$$\text{※年間勝ち点率} = \text{チームが獲得した年間の勝ち点} \div (\text{チーム試合数} \times 3)$$

(例)

・前期	10試合	勝ち点24点	チーム試合数	→	19試合
・後期	9試合	勝ち点20点	年間の勝ち点	→	44点

$$\text{※年間勝ち点率} \rightarrow 0.7719 = (24 + 20) \div (19 \times 3)$$

(注意事項)

- ①年間試合数は、チーム毎に異なる場合があるので注意する。
- ②最終的なブロック内順位は考慮しない。
- ③1、2位が同率の場合は決定戦を行う。  
※選手権の地区大会優勝の下野旗を持つチームを決めるため。
- ④出場枠の最終順位に、同率で複数チームが存在する場合は、代表決定戦を行う。
- ⑤各地区の参加枠は総会資料の通りとする。
- ⑥全日本県大会は、地区シードは設けない。会場シードのみとする。
- ⑦選手権は、各地域リーグ戦の1位チームが下野旗を持つ。地区シードは設けない。会場シードのみとする。

平成27年7月10日

栃木県少年サッカー連盟会長 高瀬 利明